



平成26年 5月15日

2面	公民館事業スタート
3面	公民館関係の組織構成
4面	中央公民館建設事業の進捗状況
5面	みんなで仲良く 青年の家だより
6面	スポーツ・情報
7面	ひと・こどもの詩・短歌
8面	農産物の花・べんべん草



まつかわ百景 ⑧

「柄山神社のシダレザクラ」

地域の方々に守られ、下伊那随一の大きさを誇る。

今年度より、団長を務めることになりました、生田の宮澤です。宜しく願います。就任して1ヶ月余り、「団長!!」と呼ばれることによりやく慣れてきたところです。

さて、私が消防団に入団したのは平成2年、今から24年前になります。ある日仕事から帰宅すると、消防法被を着たお兄さん達が5名程、私を迎えてくれました。そして父の勧めで、訳のわからないまま入団した事を思い出します。法被という不思議な服装に足元は地下足袋、式典は長時間間立ったまま、見たことのない道具を使ったり、操法という不思議な大会があったり。しかし、幸いにも地元の方知っている先輩方に良くして頂き、徐々に馴染んでいく事が出来ました。あの頃、私が団長になると誰が想像したでしょう。

さて、あれから20年余り、消防団を取り巻く環境は大きく変わりました。作業服ができ、足元は運動靴、式典は体育館の中でイスに座らせてくれます。出初め式では、消防応援組の皆さんが盛り上げてくれます。昔の

主張

消防団長に就任して思うこと ～昔も今もこれからも～

事を思えば幸せです。ところでここ数年、消防団で問題となっているのが、「団員確保」、入団者の減少です。これにはいろいろな要因が考えられます。少子化による勧誘対象者の減少、地元意識の希薄、趣味の多様化や広域化、親子間の関係、会社の勤務体制の変則化などです。しかし消防団は絶対に必要な組織です。消防署だけでは火災に対応できません。行方不明者の捜索には多くの人員が必要です。毎年消火器の点検をしてきたり、年末の夜、巡回してくれる組織はありません。

近年、自主防災組織の活動が自治会、区で活発になってきました。何かの際には是非消防団員を使ってください。団員は一般住民の方より知識や技術は持っています。そして何より近所の若者なので信頼できます。

消防を取り巻く環境は変わりましたが、消防団を必要とする根幹は変わっていません。これからも必要とされる消防団であるように活動していきたいと思っています。

松川町消防団団長 宮澤 武彦

地域とのつながりを大切に

平成26年度公民館事業スタート

気軽に参加して楽しもう

体育部長 大島 崇

新年度を迎え公民館活動も本格的にスタートしました。体育部のテーマである「ニュースポーツの普及」を軸に子どもから大人まで一緒に楽しめるものを紹介し体験していただくのと考えています。また近年各地区館の行事にもニュースポーツを取り入れていただき大変嬉しく思います。今年も各地区館にお邪魔して、ニュースポーツの紹介を考えていますので遠慮なく体育部に声を掛けてください。事業計画は例年どおりファミリー登山・トランポリン教室・駅伝大会・スポーツフェスティバルを予定しています。



30回を迎える駅伝大会

中でも、体育部のメイン事業で伝統ある駅伝大会は第30回目を迎えようとしています。

更に多くの方に参加していただき、大会の目的でもあります「町民が楽しく走ることを通じ体力の増強、健康の増進をめざし、町民の自治意識とコミュニケーションの発展を促すこと」につながっていかれたら嬉しく思います。町民の皆様のご理解と関係される皆様のご協力を宜しく願います。

地域と若者と

公民館をつなげよう

社会部長 伊藤卓哉

本館社会部では、昨年度と同じテーマにし、より一層地域と若者と公民館とをつなげていきたいと思っています。

さて、今年度は、音楽祭の25周年を記念して、5月3日に名古屋フイルの方々を招きコミュニケーションコンサートを開きました。本館社会部の事業といたしましては、「街頭あいさつ運動」を軸に、「音楽祭」、「人形劇場」、「公民館研究集会」、一昨年より行われている松川高校さんとの連携事業「地域デザインプロジェクト」等さまざまな事業を企画しております。この様な事業を通して、公民館と地域と若者とのつながりを深めていきたいと思っております。



音楽祭25回記念として
コミュニティコンサートを開催

また街頭あいさつ運動ですが、様々な団体の方々の協力をいただき、各地区にて街頭あいさつ運動を行っていただいています。あいさつは、地域と若者と公民館をつなげて行く第一歩ではないかと思いい、皆がつながって行く事を本館社会部は目指したいと考えています。

本年度も、社会部一同、これまで以上に、関係団体の皆様と共につながり、活動していきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

1号1号を大切に

編集部長 光澤正之

今年度も、館報まつかわでは町民の皆さんや公民館の活動の記録、情報発信の役割を意識して発刊できるよう、編集部では取り組んでまいります。

おとしの全国公民館報コンクール受賞。また去年は600号の発刊という大きなできごともあり、編集部としましても力を入れてきたわけですが、それで終わるわけではなく今後1号1号を大切に発刊できるような努力していかねばと気持ちを新たに新年度をスタートしました。

町民の皆様には、取材へのご理解ご協力をお願いいたします。また原稿依頼をさせていただきます。また原稿依頼をさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

皆様に見ていただける館報。また何年先に見たときも「こんなことがあったのか」と思ってもらえるような館報になるよう、まじめで楽しい編集部活動をまいります。



600号記念の人文字

ま つ か わ

平成26年度 公民館関係の組織構成

教育委員会	委員長 湯澤 徳晴(増野)	委員 大澤 健利(大栢)
職務代理 高坂美千代(城北)	委員 寺沢 茂春(増野)	委員 大澤 健利(大栢)
委員 林 元春(町谷)	スポーツ推進委員会	委員 宮下 明(宗源原)
委員 清水すなを(福沢)	副委員長 池野 妙子(宮坂)	委員 池野 妙子(宮坂)
教育長 高坂 敏昭(中の村)	委員 松下 善幸(長峰)	委員 松下 善幸(長峰)
社会教育委員会	委員 川上 智明(諏訪形)	委員 川上 智明(諏訪形)
委員長 野原 廣人(古町南部)	委員 上原かおり(名子中部)	委員 上原かおり(名子中部)
副委員長 山田 淑子(堤原)	委員 水野 淳(檜原)	委員 水野 淳(檜原)
委員 小島 慎司(中央第2)	本館部員	部員 水野 淳(檜原)
委員 佐々木順子(宗源原)	(社会部)	部員 伊藤 卓哉(滝の沢)
委員 塩澤 澄夫(中山)	部長 伊藤 卓哉(滝の沢)	部長 伊藤 卓哉(滝の沢)
委員 高森 広治(東小学校)	副部長 佐藤 俊宏(新井北部)	副部長 佐藤 俊宏(新井北部)
委員 宮澤 紀子(諏訪形)	部員 湯澤 秀樹(増野)	部員 湯澤 秀樹(増野)
委員 大久保なおみ(上町)	部員 吉川 佳弘(大沢北部)	部員 吉川 佳弘(大沢北部)
公民館運営審議会	部員 堀木 拓也(下垣外南部)	部員 堀木 拓也(下垣外南部)
会長 森谷 岩夫(議会)	部員 小林 鉄也(清北)	部員 小林 鉄也(清北)
会長代理 坂井 良紀(学識経験)	部員 熊谷 拓也(増野)	部員 熊谷 拓也(増野)
委員 橋本 喜治(議会)	部員 小笠原章文(宗源原)	部員 小笠原章文(宗源原)
委員 細萱 稔(中央小学校)	部員 細田 勲(名子中部)	部員 細田 勲(名子中部)
委員 下井 早苗(北小学校)	部員 知久 伸也(西山)	部員 知久 伸也(西山)
委員 佐々木康子(女団連)	(編集部)	部長 光澤 正之(清泉地一)
委員 山田 俊文(社協)	部長 光澤 正之(清泉地一)	部長 光澤 正之(清泉地一)
委員 原 実(中央PTA)	副部長 大久保康司(中荒町)	副部長 大久保康司(中荒町)
委員 大久保なおみ(北PTA)	部員 宮下 徹(弥久司)	部員 宮下 徹(弥久司)
委員 山田 淑子(社教委員長)	部員 宮下 和子(上町)	部員 宮下 和子(上町)
委員 小島 慎司(社教委員)	部員 坂本 美帆(福沢)	部員 坂本 美帆(福沢)
委員 宮澤 紀子(社教委員)	部員 宮崎亜希子(馬坂)	部員 宮崎亜希子(馬坂)
委員 大野 幸洋(体育協会)	部員 松下 佳史(城北)	部員 松下 佳史(城北)
委員 水野 邦美(文化協会)	部員 大東 洋文(檜原)	部員 大東 洋文(檜原)
委員 林 秀弘(学識経験)	部員 久保田さち子(広小路)	部員 久保田さち子(広小路)

部員 米山 拓也(下垣外西部)	部員 伊藤 卓哉(滝の沢)	部員 佐藤 俊宏(新井北部)	部員 湯澤 秀樹(増野)	部員 吉川 佳弘(大沢北部)	部員 堀木 拓也(下垣外南部)	部員 小林 鉄也(清北)	部員 熊谷 拓也(増野)	部員 小笠原章文(宗源原)	部員 細田 勲(名子中部)	部員 知久 伸也(西山)	部長 光澤 正之(清泉地一)	副部長 大久保康司(中荒町)	部員 宮下 徹(弥久司)	部員 宮下 和子(上町)	部員 坂本 美帆(福沢)	部員 宮崎亜希子(馬坂)	部員 松下 佳史(城北)	部員 大東 洋文(檜原)	部員 久保田さち子(広小路)	
(体育部)	部長 大島 崇(古町東部)	副部長 高坂 政憲(中の村)	部員 塚本 聡(上町)	部員 神田 康憲(上町)	部員 宮脇 俊典(新井南部)	部員 高坂秀太郎(城)	部員 大澤 優子(大沢南部)	部員 関 優那(大島南部)	部員 鈴木 晶(堤原)	部員 今村 剛弘(檜原)	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会	地区協議会
部員 佐々木光男(宗源原)	主事 佐々木広明(名子中部)	主事補 平澤 智人(桑園南部)	主事補 米山 敏章(大沢南部)	主事補 熊岡 正志(大沢北部)	主事補 片桐 宏尚(清泉地一)	主事補 米山 敏章(大沢南部)	主事補 砂場 正人(間沢)	主事補 松下 忠寛(峠)	主事補 唐澤 敏行(部奈二)	主事補 唐澤 敏行(部奈二)	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	
部員 佐々木光男(宗源原)	主事 佐々木広明(名子中部)	主事補 平澤 智人(桑園南部)	主事補 米山 敏章(大沢南部)	主事補 熊岡 正志(大沢北部)	主事補 片桐 宏尚(清泉地一)	主事補 米山 敏章(大沢南部)	主事補 砂場 正人(間沢)	主事補 松下 忠寛(峠)	主事補 唐澤 敏行(部奈二)	主事補 唐澤 敏行(部奈二)	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	

平成26年度 松川町公民館 関係者名簿

○ 地区協議会役員

協議会名	協議会長	主事	主事補
大島地区協議会	佐々木光男	佐々木広明	平澤 智人
上片桐地区協議会	熊岡 正志	片桐 宏尚	米山 敏章
生田地区協議会	砂場 正人	松下 忠寛	唐澤 敏行

○ 地区公民館役員

地区館名	館長 [副館長] (会 計)	主事 [主事補]	社会部長 社会部副部長	体育部長 体育部副部長
古町地区公民館	小沼 俊	北沢 和繁 福与 顕一	竹内 功真 松下 真悟	三宅 源一 桑原 繁美
上新井地区公民館	岡村 義文	宮下 祥司 王生 到	深津 純賢 福島 賢治	日置 孝史 山田 裕一
名子地区公民館	佐々木光男	今村 直秀 中村 彦彦	荻原 浩司 下澤 勇気	平島 高士 宮下 紘一郎
上大島地区公民館	水野 一昭	宮澤 明步 大倉 正治 [大島 崇]	松下 真俊 林 俊秀	榎本 謙二 西尾 徳徳
上片桐地区公民館	熊岡 正志 [山崎 隆]	片桐 宏尚 [米山 敏章]	北原 甚吾 竹村 仁	松尾 雅美 宮下 直樹
福与地区公民館	砂場 正人 (片桐 勝浩)	岩男 晃位	杉山 松雄 久保田 勝秀	日向 明正 森脇 浩和
生東地区公民館	松沢 明彦	平島 衛隆 [下澤 隆治]	下澤 健治 下澤 昭喜	木下 昌浩 下澤 和巧
部奈地区公民館	林 孝正 (北林 正文)	唐澤 敏行	唐澤 和美 北林 貢	中島 康治 下平 宏之

事務局長兼こども課長	下沢 克裕	公民館長	矢澤 登	生涯学習・男女共同参画係長	矢澤 登	兼公民館主事	福島 俊美	生涯学習・男女共同参画係	福島 俊美	兼公民館主事	望月 貴生	社会教育指導員	村松 浩子	地域コーディネーター	佐竹 久知	資料館	酒井 幸則	宮崎 久美	矢沢 秀子	図書館司書	鹿嶋 裕子	
社会教育施設管理	米山 正彦	福与体育館管理	佐藤 史人	名子原体育館管理	佐藤 史人	福与体育館管理	松本 勝子	(松川青年の家)	高坂美智子	所長	大原 均	次長兼青年の家係	長谷部 守	事務職員	松村 尚樹	事務職員	西川 信博	事務補助員	片桐みどり	赤城 昭一	下澤 明人	松尾久美子

松川町中央公民館改築事業の進捗状況

平面図案の検討が進んでいます

はじめに

昭和46年に建設された中央公民館（当時の名称…福祉センター）ですが、平成20年度に耐震診断を行ったところ、構造耐震判定指標の安全基準を下回る結果となりました。

そこで平成23年度、町は、中央公民館整備方針検討委員会を立ち上げ、改築とするか、耐震補強とするかを諮問し、委員会での度重なる検討・審議の結果、改築の方向で答申がされました。

平成24年度に入り、改築の方向を受け、広く住民の皆さんの意見を反映するために、中央公民館建設委員会、中央公民館づくりワークショップ委員会の2つの委員会を立ち上げ、中央公民館改築整備計画案を作成し、町では、これを受け、策定いたしました。

現在の進捗状況

平成25年度を設計の年と位置付け進めてきました。

昨年の9月には、プロポーザル方式により、設計業者を宮本・桂設計共同企業体に決定しました。

新しい中央公民館の間取り（平面図）について、10月の建

設委員会を皮切りに、11月のワークショップ委員会、12月には役場内での庁内検討委員会、また、その都度の議会報告を行ってきております。（別表の経過参照）

各会議を進めていく中で、様々な課題が論議されております。主だったものは「①下足化」、「②チャンネル・ユーの位置」、「③設計概算と規模」などですが、一つずつ方向性を出し、その都度、平面図修正を行っているところです。

これによりまして、平成26年度にまたぎ、設計業務を繰越すことといたしました。

住民の皆さんへの公開

基本設計案が固まった段階で、パブリックコメント（意見公募）の形をとり、皆さんへ公表してまいりたいと思っております。今しばらくお待ちいただけます。

中央公民館改築事業の経過

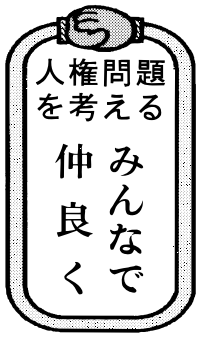
平成26年5月現在

時期	会議等	内容
9月	設計者の決定	プロポーザル方式により宮本・桂設計共同企業体に決定
10月	第8回建設委員会	プロポーザル技術提案書に基づいた概略平面図をたたき台とし検討
11月	第9回建設委員会	修正概略平面図の検討
11月	第5回ワークショップ委員会	利用者として、提案された概略平面図が改築整備計画と符合しているか確認
12月	第10回建設委員会	ワークショップ委員会での意見の検討
12月	議会常任委員会	議会へ進捗状況報告
12月	第1回庁内検討委員会	助言・意見
1月	第11回建設委員会	下足化、チャンネル・ユーの位置について
1月	議員協議会 総務社会常任委員会 議会全員協議会	議会へ進捗状況報告
1月	第2回庁内検討委員会	助言・意見
2月	第3回庁内検討委員会	助言・意見
2月	第12回建設委員会	設計概算と規模の調整①
3月	総務社会常任委員会 議会全員協議会	議会へ進捗状況報告
4月	第13回建設委員会	設計概算と規模の調整②
4月	総務社会常任委員会 議会全員協議会	議会へ進捗状況報告
5月	第6回ワークショップ委員会	第5回ワークショップ委員会後の修正図面の確認

※以下、進捗状況を踏まえながら会議の開催



パブリックコメント(意見公募)の段階で
新しい中央公民館の図面を公開



平成25年度松川中学校1学年は、1月31日に阿智村満蒙開拓平和記念館を訪れました。満蒙開拓団の歴史を通して戦争について学び、その中で私たちは、「平和への誓い」を作成し、慰霊セレモニーを行いました。以下私たちの誓いです。

平和への誓い

私たちは実際に戦争を体験していません。しかし、平和学習を通して、戦争で数十万、数百万という方々が犠牲となったことを学びました。そして、亡くなられた方はもちろん、家族や友人など、どれだけの人々が悲しい思いや悔しい思いをしていたか、想像することはできません。

満蒙開拓でも、多くの方々が満州で家族や友人を亡くしたとお聞きしました。私たちの想像を超えるくらいことや悲しいことを経験されたのだと思います。このような悲劇を二度と起こしてはならないと

思います。

そのために、私たちが今できることは何か。

相手の気持ちを考えて行動すること、きまりやモラルを守ることで、自分の意志を持って行動することだと考えます。

そして、ここに、平和な社会を築くために次のことを誓います。

- ① 人のいやがることをせず、友だちを大切にすること
- ② 今、持っている命を大切にすること
- ③ 平和への思いを次の世代に伝えること

これらのことを心に刻み、戦争のない平和な社会を私たちが築いていきたいと思えます。

平成25年度松川中学校1学年



平和の誓いを胸に...

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その三十二

春の森キャンプ

青年の家ではゴールデンウィークの5月3日と4日に、小学生による春の森キャンプを実施しました。今回の主な活動は、森の中における作業体験として、みんなで山の中に遊歩道を開け、そこに看板を立てたり遊具を作ったりすることでした。食事は自分たちで献立をたて、買い出しをして、調理をするといったいつもの自炊でした。

遊歩道づくり

昨年、下の清流苑から上の車道までの散歩道が整備されたので、子どもたちにそこから青年の家までつながる遊歩道を体験も兼ねて作ってもらいました。ヒノキ林の中に約1m幅の歩道を作るのですが、切株があったり倒木が寝ていたりしてなかなか大変な作業でした。子どもたちは慣れない手つきで、のこぎりや鎌を使って邪魔な木を切ったり大きな石をてこを使ってどかしたりして道づくりは進みまし



汗を流して道づくり

た。

暑い日だったので作業は大変でしたが、休みながら仕事を進め夕方には全線がつながりました。ここは起伏があつたり崖の上を歩くところもあつたりして、なかなか変化に富んでいます。また、林内は日蔭で涼しいうえ、木の間から遠く烏帽子岳の頂を望むこともでき、散策に来た方には喜んでもらえるコースになると思います。

遊具づくり

2日目は、前の日に開通した遊歩道の周囲に遊具を作りました。一つのグループは2本の立木に太い木を渡し、それにロープを結びつけて板を取り付けブランコを作りました。完成後、我先にと飛び乗ってこぎ始めた子どもたちは、大きく振れるたびに崖下に片桐松川やおよりの森を見て「キヤーキヤー」と叫んでいました。一方、別のグルー

看板づくり

プは3本の立木を利用してツリーハウスの製作です。みんながかついで集めた丸太を立木に結びつけた高床式の家ですが、重い木がたくさん必要なので、子どもたちは汗だくなつて頑張りました。その床の高さが1mありましたが、子どもたちがハシゴを作ったので誰でも上れるようになりました。完成に近づくと、代わる代わる床に上っては満足そうな顔をしていました。

男子のグループは、自分たちで道案内の看板を作りました。厚い板にペンキを使って「青年の家↓」と大きな字の看板を作り、清流苑との分かれ道に立ててくれました。これからはこの看板を見て青年の家に来てくれる人が多くなることでしょう。別のグループは「清流苑へ↓」「大の字広場へ↓」の看板を作り、それぞれの位置に立てました。



自分たちで作った看板

第24回長野県市町村対抗駅伝競走大会

松川町 2時間11分29秒 総合 18位

町の部 第3位



第1区	2・7キロ	神部 紫音	10分17秒
第2区	3・1キロ	松下 哲也	9分52秒
第3区	5・8キロ	松山 克敏	19分44秒
第4区	6・2キロ	松下 巧臣	19分55秒
第5区	3・1キロ	熊谷 美佑	11分11秒
第6区	5・8キロ	大澤 聖	21分25秒
第7区	6・2キロ	米山 祐貴	19分28秒
第8区	5・645キロ	西永 佳人	19分37秒

松川町
出場選手・結果

第10回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会

松川町 22分40秒 総合 17位

町の部 第3位

松川町出場選手	第1区 及川明香梨	第3区 古川満里菜
	第2区 中島 快都	第4区 大澤 倅輝

全6キロ (1・5キロ×4)



男と女のあり方が変わる 経済も変わる

森永卓郎さん講演会

期日 6月14日(土)

開演 13:15

場所: 町民体育館トレーニングルーム

- 3位 長峰
- 2位 宗原
- 1位 中の村

4月14日(月)に豊丘スポーツ館にて松川町ゲートボール連盟春季大会が開催されました。結果は次のとおり。

松川町ゲートボール
連盟春季大会

高齢者講座第1回

まつかわ寄席

古今亭菊生 独演会

期日: 5月24日(土) 13:30~

場所: 中央公民館大会議室

入場無料

お問い合わせ: 中央公民館 ☎36-2622

1957年生まれ、東京都出身。東京大学経済学部経済学科卒業。専門は、労働経済学と計量経済学。その他に、金融・恋愛・オタク系グッズなど、多くの分野で評論を展開している。堅苦しい経済学をわかりやすい語り口で説くことに定評があり、執筆活動のほかにテレビ・ラジオでも活躍中。TBS「がっちりマンデー!!」、YTV「情報ライブ ミヤネ屋」など。

*なお、まつかわ大学第9期生以外で、当日のみ参加希望の方は、お申込みと参加料500円が必要になります。

まつかわ大学とは。。。 「自ら学ぶ意欲をもって参加し、多方面にわたる知識を身につけ、生涯にわたって豊かな生活が営める」ことを目的に「まつかわ大学」が開講され9年目を迎えます。昨年の第8期講座では多くの皆様から参加した喜びや感激の声、継続への励ましもいただいております。この機会にぜひご参加くださいませ。

まつかわ大学運営委員会 (申込み・お問合せ先 中央公民館: 電話 36-2622)

日々これ勉強

公民館主事 福島 俊美さん

この4月から公民館主事として着任された福島俊美さん。

前年度までは松川青年の家で、施設管理・運営に関わられていたそうです。公民館では体育部事業や、ロードレース、各種スポーツ団体への協力など町の体育関係の仕事を中心に担われるそうです。

着任されてひと月たった感想をお聞きしたところ「まだわからないことばかりで忙しく日々

勉強の毎日で流されるままの状況です。公民館は住民の皆さんと共に作っていく場所なので、一緒に頑張りたい。」とお答えいただきました。

興味をお聞きしたところ、体力維持のために中学からずっとバレーボールを続けていらつしやるそうです。また、誘われるとゴルフも楽しむそうです。最後に町民の皆さんに一言をお願いしたところ「皆様にお世



学校と地域をつなぐ

地域コーディネーター 佐竹 久知さん

今年から公民館に設置された地域コーディネーターを務められる佐竹さん。地域コデー

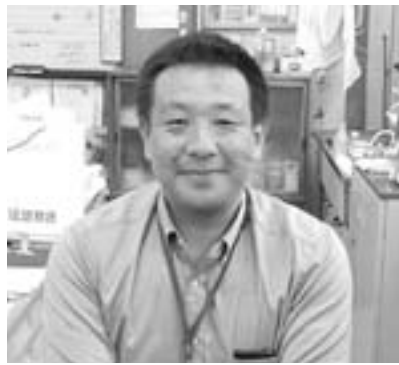
ネーターとはどのような仕事かを伺ったところ「初めての仕事なのでまだ頭の中にしか無く手探りでやっていると

学校を支える地域づくり、地域と学校をつなぐ仕事と考え、具体的に学校からの協力の問い合わせに対して、経験や体験を持つている、教えられる方をすぐさま紹介できる仲人のようになつていきたい。」とお答えいただきました。

さっそく中央小からクラブ活



話になりながら日々勉強をしていきたいと思えます。ご指導よろしく願います。」と最後まで笑顔で語っていただきました。



動の手伝いや、中学校から写生大会で絵の指導ができる方がいないかなどの相談を受けられたそうです。

最後に町民の皆様一言をお願いしたところ「子どもは町の財産なので、町民みんなで育てている町になっていけばいいと思う。」とお話を頂きました。新しい仕事をこれから作っていく佐竹さん。今はまだ人材の蓄積段階だそうなので、手伝わてもいいという方はお気軽に公民館までご連絡を！

こいの詩

春まつり
北小2年 はら み空
おともたちと
おかめおどりを見たよ。

おかめおどりは、すこかつた。
おかめおどりがおわたたら、
こんどは、ししが出てきたよ。
ししがうつくしくト
トントンびびびー。
たいこやふえの音が
きこえてきたよ。
お花のにおいもしてきた。
春のおまつりは、
たのしいな。

ざりがにさがし

北小2年 みつさわ はら
休みじかんにおともたちと
ざりがにをさがしたよ。
なかなか見つからないから
みんなでしかけをつくつたよ。
ほうかご、
どきどきしてしかけを見たら
ざりがにがいたよ。
「ざりがにを見つけた。」
って、みんなに言った。
水の中
ざりがにを入れたよ。
およぐところがカッコいい。
またみんなど
ざりがにをとりたいた。

短歌

齋藤 登志子(本町)
今時の高校生は制服にリュック背負いてホームを走る

南アの稜線の上中秋の名月ボツカリ水に浮くごと

信越の線路の消えて遊歩道十のトンネルくぐりて通る

求めきし三年連紀の日記帳いかなるニュース記される事か

カラフルなランニング姿の競技場伊那駅伝に孫娘も走る

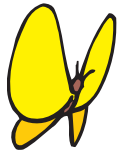
コーディネーショントレーニングを学ぶ会 in 南信州松川

期 日：5月24日(土) 9:00~
場 所：松川町民体育館

本講習会への参加はJACOT認定ブロンズライセンスセミナーの受講資格となります。

申込期限：5月16日(金)

お申込・お問合せ：生涯学習課 ☎36-2622



なし(南水)



もも(なつっこ)



さくらんぼ(佐藤錦)



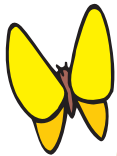
りんご(シナノスイート)



すもも(貴陽)



ブルーベリー



松川町では、4月半ば頃から様々なくだもの
の花が咲き誇っていきます。その花々を部員が
撮影してみました。

くだもの里を彩る花々

2022年

小保方さんのSTAP細胞に関する論文問題が世間を騒がせている。

関連する人物、団体も数多く、それぞれの言い分を聞くかぎり、それぞれが保身に躍起になっているだけにみえる。どれが真実なのか結局しろうとはわからない。STAP細胞がネイチャー誌に発表された時の報道は鮮明に覚えている。多くの細胞に変化できる万能細胞がいともしやすく、しかも短期間に作成できるというノーベル賞級世界的大発見を、割烹着を羽織ったうら若き女性リーダーが発表した。ビッグニュースに日本中がわきかえりテレビ、新聞、週刊誌などマスコミは連日特集を組んでニューヒロインを祭り上げた。私も今年の大みそか、割烹着を着て紅白歌合戦の審査員をしている小保方さんを不覚にも想像してしまった。

今現在、世間の口調は概ね懐疑的だ。ワイドショーのコメントーターたちも歯切れが悪く、小保方さんの立場はかなり危うい。STAP細胞もUFOやネッシーのように一部の人だけが見た見たと騒いだ謎の物体になってしまうのか。そうならないように願う。

(宮下 徹)

公民館報
「まっかわ」
第 607 号
平成26年 5月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。